

開智創造

令和6年
10月4日（金）

学校教育目標：よく学び 未来を見つめ さわやかにたくましく生きる生徒の育成

居住地校交流

昨年度も交流した大曲支援学校中等部3年生の□□□□さんが、10月1日（火）に本校を訪れました。今回は総合的な学習の時間に翠星学年と共にモザイクアート制作に取り組み、学校祭準備に協力してくれました。1年ぶりの再会に子どもたちはとても嬉しそうでした。



体育館での活動でしたが、緊張してなかなか入っていけない□□さんの様子を見て、生徒たちの方から近くに寄って来て交流がスタートしました。そう言えば去年教えてもらったことですね。



アイスブレーキングとして「じゃんけん列車」を楽しみました。久しぶりのじゃんけん列車は思いのほか盛り上がり、皆さん楽しそう。□□さんと□□さんが最終決戦に！



□□さんも女子グループに入って、皆と一緒に色塗り作業をしました。このマスにはこの色でという手がかりがあれば、スラスラと作業。近くで優しく様子を見守っている生徒たち。

最後に皆で写真をパチリ。交流の時間はあっという間でしたが、共にあたたかい気持ちになれたのではないかと思います。来週月曜日に支援学校の先生を迎え、3年生は事後学習を行う予定です。

弁当の日 & 卵焼きづくり

10月28日（月）は弁当の日です

*弁当の日とは？

2001年、香川県のある小学校の校長先生が始めたもので、子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取組です。何を作るか決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも、子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。この取組を通じ、子どもたちに「感謝の心」や「自己肯定感」を育んだり、失敗の中から多くを学び生きる力を身に付けさせたりすることをねらいとしています。（再掲）

調理室前の廊下に、昨年度の弁当の写真が掲示されています。「去年はこんなの作ったんだっけ。」と自分の弁当の写真を見たり、卒業した先輩たちの弁当の写真を見たり…。特に1年生は、「こんな風にするんだ。」と、写真からイメージを膨らませているようです。

先日は保護者の皆様にもメニューのチェックなどお手数をおかけしました。この後も食材の買い出しや調理へのアドバイス等ご協力いただくことがたくさんあるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

私自身一番難しかったのが、時間のない朝に台所を占領され、家事は進まない、兄弟全く違うメニューで時間はかかる、それでも口出しや手出しをせず黙って見守ることでしたが、親子共に貴重な経験&学びの機会となりました。当時我が子が作った弁当の写真は大事に保存しています。今の北中生の作るお弁当はとても上手でおいしそう!すごいなと思います。

□□先生が1年生に基本の卵焼きの作り方を教えていただきました。



二人で協力し合い1個の卵焼きを作りました。手慣れている生徒もいれば、箸がうまく使えずになかなかひっくり返せない生徒も。味はどうだったかな？

社会科学習で模擬投票

「何だコレは!？」3C教室で、隠しておくかのように置かれてある選挙投票グッズを発見。本物の選挙投票箱や投票記載台が置かれており、???

3年社会科では現在公民分野の学習をしています。「現代の民主政治」の単元に出てくる選挙はタイムリーな話題でもあり、教頭先生が模擬投票を経験させたいと大仙市役所仙北支所から借りてきたグッズでした。

授業では、選挙立会人役の生徒もついて、全員が模擬投票を体験しました。

将来実際に投票しに行った時に、この日のことを思い出してくれたら嬉しいです。



今でも後悔していること

□□ □□

中学の時は、課題はいつもメ切りの前日に徹夜して完成。勉強より部活。気付いた時には点数が足りず、焦って必死こいて勉強して志望校に入学。「熱さ喉元過ぎればなんとやら」で高校入学後は、案の定また部活三昧の日々。言い訳すると、高校まで自転車で1時間かけて通っていたので、部活が終われば19時頃、その後30分くらい先輩に嫌がらせされ(笑) 帰るのは20時前。

鬱憤をはらすためにゲームセンターに寄って遊んでいく始末(当時はそんな所でもめめ事がたくさんあったなあ)。自宅に着くのが21時。当然成績はナイアガラの滝並に下降。そんな生活が続いた夏休み明け、担任に呼ばれた。「説教か…」と思っていたところ、担任は「□□、通学が大変なのは分かる。部活にかけているのも分かる。俺と1つだけ約束しないか。家に帰ったら、英語の教科書1Pだけ声に出して読んでから学校に来いよ」と言われた。「それだけ?」と思ったが、男と男の約束。毎日繰り返した。数ヶ月後、なぜか英語の授業が分かるようになった。「あれ?」と思った。「これ、他の教科も分かるようになるんでね?」と思ったのも束の間、何もせず1年が過ぎた。英語だけは成績が上がったが、他教科は地面すれすれを飛行中。2年になり担任が替わったが、また1年の時の担任が「□□、時間って戻らねんだよ。いまって何をやるにも伸びる時期なんだや。もったいねと思わねが?」と声をかけてくれた。その時の自分は、理解したのかどうか思い出せないが、とりあえず勉強し始めた。3年になり、実力テストでは第1志望校の判定はC。「や、やばい…」と思い必死こいて勉強した。しかし、結果は不合格。そんなに人生甘くない。その時初めて後悔した。どれだけ自分は時間を無駄にしたのだろう。もう取り返せないよな…と。その後のことは省略するが、その時その時にいろんな人にいろんな事をアドバイスされた。なのに、なんで自分は実行しなかったんだろう…と後悔している。そんな自分が、ずっと生徒にかけてきた言葉は、どれだけ生きた言葉で彼らの心を動かせたのだろうか?と思う。いや、そう思うことが傲慢なのかもしれない。でも、生徒のみなさんには、最大限の努力をして挑戦してほしいと思う。例えその時成功しなくても、やったことは別の道で生かされることになる。それだけは自信をもって伝えることができる。

学級力アンケート

仙北中学校では、「自分たちの学級を、自分たちの手でよくしていく」ために、学級力アンケートを活用した話し合い活動が行われています。

9月の最終日に各クラスで行われていた話し合いの様子を見てみると…



1年生は、6月と9月のアンケート結果を比べ、評価が低くなってしまった項目について、その原因を出し合っていました。



2年生は、生活・学習のきまりが守れていない課題が見え、現状把握や解決法を皆で話し合っていました。規範意識を高め成長し合える関係になれるかな。



3年生は、全員の見解が互いに見られるよう、メタ文字に打ち込んで話し合いを進めている学級も。色々な方法で皆の見解、多様な考えが生かされるように。